



学校便り

だしる

自主・向学・協調・練磨

錦江町立田代中学校

令和7年3月12日発行

合い言葉 **やればできる**

未来に向けての一步

校長 土岐 邦寿

三月に入り、いよいよ3年生が卒業する時期になってきました。卒業式に合わせて、今回の学校便りは卒業生に向けてのメッセージ記念号にしたいと思います。

3年生の皆さん卒業おめでとう。みなさんとは2年間の付き合いでしたが、修学旅行に行ったり、TJKで一緒に行動したりと楽しい思い出がいっぱい詰まったものになりました。特に生徒会は学校を盛り上げようと工夫を凝らしている姿が印象的です。その中でも印象的だったのは水曜日の給食時間に行われる生徒会ラジオです。学校内での話題から難解な数学の豆知識までレポーターに飛んでいました。学校行事が成功し目標を達成した時の喜びを熱く語ったり、学校生活での愚痴をさりげなく入れたり、個性豊かなパーソナリティーによる、振れ幅の広いトークを毎回楽しみに聞かせてもらいました。また、体育大会や文化祭においても、新しいチャレンジをする君たちには感動と感謝の気持ちでいっぱいです。田代中学校創立20周年を盛り上げてくれてありがとう。

さて、これから田代中学校を飛び出し、新しい道へと一歩進めることになります。保育園、小学校、中学校と一緒に過ごしていたメンバーがバラバラになるのは寂しいかと思いますが、新しい出会いに向かって大きく羽ばたいてほしいと思います。卒業する3年生に贈る言葉として彫刻家高村光太郎さんの「道程」を選んでみました。この詩の冒頭は「僕の前に道はない 僕の後ろに道ができる」です。有名な言葉です。知っていますか？この言葉は今から田代中から未知の世界に飛び出し、新生活をはじめ皆さんにぴったりだと思えます。これから進むべき道は人それぞれで、自分の前に完成された道は一つもありません。「人生という草原」の中にポツンと立っているかもしれないです。でもその中を歩くとどうでしょう。自分の後ろには道ができます。振り返ると、自分が進むことによってできた道が見えるのです。自分の道は誰も作ってくれません。未来へと進むべき道は自分自身で作っていくものなのです。進んでいく中で目の前には高い壁や厳しい崖があるかもしれません。通行困難な大きな川が行く手を阻んでいるかもしれません。でも自分の夢(目標)を掴み取るためにはそこ乗り越えていかなければならないのです。厳しく苦しい、こんな道があるかもしれませんが、その先には素晴らしい未来が待ち受けていると思います。そこに向かって、毎日コツコツ、一步一步、前に進んでほしいと思っています。

田代中学校生徒で活躍できた皆さんです。「やればできる」の精神で、輝かしい未来を勝ち取ってください。応援しています。

